



## 関西国際空港で2年に1度の海上事故対策訓練を実施

関西エアポート株式会社は、関西国際空港周辺の海域において、航空機事故が発生した場合を想定し、2年に1度の海上事故対策訓練を、以下の通り実施いたします。

この訓練は、関西国際空港緊急計画に基づき実施するもので、空港島付近の海域で航空機事故が発生した想定で、実際にポートターミナル施設内に救護所を開設し、関係機関の行動方針や意思決定などを、実動訓練を通じて確認・検証することで、相互の連携強化と早期の救助体制確立を図ることを目的としています。

関西国際空港緊急計画は、国際民間航空条約第14付属書に準拠し、関西国際空港及び空港周辺で航空機事故が発生した場合に備え関係機関と協力し、消火救難及び災害医療活動を迅速かつ適切に実施するため関西エアポート株式会社が策定し、実施するものです。

関西エアポート株式会社は、引き続きお客様の旅を支える安全の確保や、空港を安心してご利用いただける環境づくりを進めてまいります。

○日 時：2017年7月19日（水）13:30～15:30

○場 所：①海上部分：関西国際空港北東側海域  
②陸上部分：ポートターミナル周辺

○主 催：関西国際空港緊急計画連絡協議会

○参加機関：関西エアポート株式会社、新関西国際空港株式会社

国土交通省大阪航空局関西空港事務所、海上保安庁第五管区海上保安本部

関西空港海上保安航空基地、堺海上保安署、岸和田海上保安署

泉州南広域消防本部、大阪市消防局、堺市消防局、大阪府警察本部

関西空港警察署、大阪水上警察署、りんくう総合医療センター（泉州救命救急センター）

近畿大学医学部関西空港クリニック、西日本電信電話株式会社

大阪府漁業協同組合連合会、大阪府水難救済会（18機関）

○参加人数：約200名

○訓練内容：①海上部分

- ・海面漂流者の脱出スライド（救命筏）救助訓練
- ・ヘリコプター救助訓練
- ・火災消火訓練
- ・ヘリ映像伝送訓練

②陸上部分

- ・各本部、救護所、救急搬送指揮所設置運用訓練
- ・医療救護活動訓練
- ・負傷者搬送訓練



2015年度実施した訓練の様子

### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社

コーポレートコミュニケーション部

Tel : 072-455-2201

 KANSAI AIRPORTS



関西エアポート株式会社は、関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITM）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しました。関西エアポートは、オリックス株式会社とVINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。

関西エアポートは、両空港の安全とセキュリティを常に最優先しつつ、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化し、両空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへ貢献することを目標としています。

関西エアポートは、2015年12月15日付けで新関西国際空港株式会社との間で、事業期間を44年とする「関西国際空港及び大阪国際空港特定空港運営事業等公共施設等運営権実施契約」（実施契約）を締結しています。

詳しくは、関西エアポート株式会社ホームページ：[www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/)をご参照ください。

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	資本金	250億円
代表者	代表取締役社長 山谷 佳之 代表取締役副社長 エマヌエル・ムノント	設立年月日	2015年12月1日
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% <sup>1</sup>



#### オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界36カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。

2014年に50周年を迎え、これからも経営戦略である“「金融+サービス」の加速化”、“アジア等新興国の成長を取り込む”を推進し、新たな事業機会の獲得と持続的な成長を目指すと同時に、社会に貢献してまいります。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、35空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス13空港、ポルトガル10空港（リスボンのハブ空港含む）、カンボジア3空港、日本2空港、ドミニカ共和国6空港、そしてチリのサンチャゴ空港には、合計で200社を超える航空会社が就航し、2016年の旅客者数は1億3,200万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1万1,000人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。2016年の連結売上高は10億5,000万ユーロに達します。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社ジェイティービー、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構